

東京都 文京区（カーボン・オフセット、国産木材玩具の購入）

- ▶ 文京区では、文京区地球温暖化対策地域推進計画（令和2年3月改定）におけるアクションプランの中で、「区の率先行動」の一つとして、区有施設への環境に配慮した資材等の活用を進めるとし、区有施設に木材を利用するとともに、カーボンオフセット・クレジットを導入し、二酸化炭素の排出量削減を推進してきた。また、森林環境教育を目的とした「つわのこどもキャンプ」を実施した。
- ▶ 令和5年度においては、以下の取組を実施した。
 - 1, 区立保育園・幼稚園において、子どもたちが使用する国産木材の玩具を購入した。
 - 2, 包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入した。
 - 3, 協定等締結自治体である島根県津和野町において、森林環境学習等を目的とした「つわのこどもキャンプ」を実施した。

□ 事業内容

1 国産木材玩具の購入

- 区立保育園・幼稚園において子どもたちが使用する国産木材の玩具を購入した。

【事業費】2,747千円（うち譲与税2,660千円）

【実績】区立保育園（17園）・幼稚園（11園）で購入

2 オフセット・クレジット（J-VER）の購入

- 本区と包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入することで、区の二酸化炭素排出量を削減するとともに、森林整備に係る取組を支援した。

【事業費】3,960千円（うち譲与税3,960千円）

【実績】400t相当の二酸化炭素排出量削減

□ 取組の背景

- 1 国産木材の安全性や良質さをより身近に感じてもらえるよう、子どもたちが使用する玩具を購入することとした。
- 2 森林のない文京区において、オフセット・クレジットを購入することで、ゼロカーボンに向けた取組を推進することができる。

□ 工夫・留意した点

- 1 国産木材を使用した「つみき」を購入し、幼少期から森林環境について考える機会を設けた。
- 2 本区と包括連携に関する覚書を締結している熊本県から購入することで熊本県の森林整備に係る取組について支援した。

□ 取組の効果

- 1 幼少期から国産木材玩具に触れることで、都心区の子どもたちとその保護者に森林環境について触れることができる。
- 2 二酸化炭素排出量の削減につながる実効性のある施策を率先して取り組むに当たり、カーボン・オフセットは新たなアプローチとなる。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：26,268千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：240,069人
	⑤林業就業者数（※2）：6人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（事業2：事業概要（環境省HPより）



（事業1：国産木材玩具の「つみき」）

- ▶ 文京区では、文京区地球温暖化対策地域推進計画（令和2年3月改定）におけるアクションプランの中で、「区の率先行動」の一つとして、区有施設への環境に配慮した資材等の活用を進めるとし、区有施設に木材を利用するとともに、カーボンオフセット・クレジットを導入し、二酸化炭素の排出量削減を推進してきた。また、森林環境教育を目的とした「つわのこどもキャンプ」を実施した。
- ▶ 令和5年度においては、以下の取組を実施した。
 - 1, 区立保育園・幼稚園において、子どもたちが使用する国産木材の玩具を購入した。
 - 2, 包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入した。
 - 3, 協定等締結自治体である島根県津和野町において、森林環境学習等を目的とした「つわのこどもキャンプ」を実施した。

□ 事業内容

3 つわのこどもキャンプの実施

- ・ 令和5年8月1日～4日の3泊4日で区内の小学4～6年生を対象に、島根県津和野町で「つわのこどもキャンプ」を実施した。

【事業費】 3,482千円（うち譲与税2,100千円）

【実績】（実施回数）1回 （人数）30人

□ 取組の背景

- ・ 小学生に津和野町の森林づくりの取り組みや、間伐体験、薪割り・チェーンソー体験、森林遊びなどの森林体験、木質バイオマス発電所の見学などを通して、森林環境保全の大切さを学ぶことができる。



（事業3：間伐体験や薪割り体験）



（事業3：林業関係者とのトーク）

□ 工夫・留意した点

- ・ 間伐体験、薪割り・チェーンソー体験等の森林体験や林業関係者・津和野町農林課とのトーク、木質バイオマス発電所の見学などにより森林環境保全の大切さ・森林資源の循環を学ぶための機会を設けた。

□ 取組の効果

- ・ 東京にはない森林環境に触れ、森林づくりの取り組みや森林体験などを通して、子どもたちに森林環境について考える機会を提供することができる。

◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：26,268千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：240,069人	⑤林業就業者数（※2）：6人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より